

KITASEUENO SHINKIN BANK Disclosure 2020

2020年9月期 ディスクロージャー

〒510-8666 四日市市安島二丁目2番3号
TEL.059-354-1611(代)
<http://www.kitaseueno-shinkin.jp/>

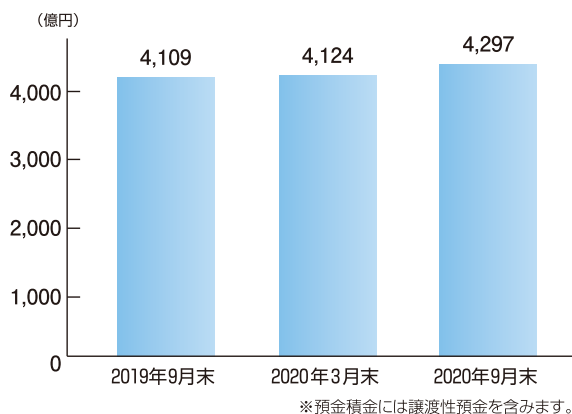


上半期の業績について

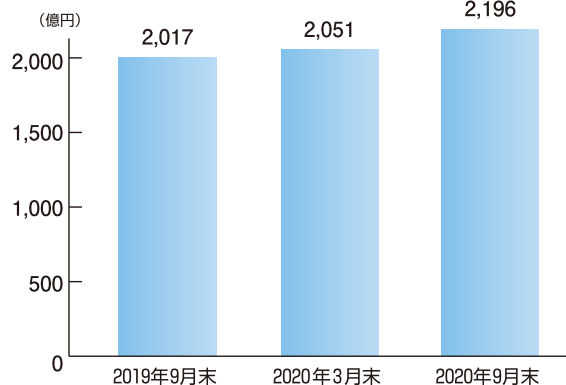
■ 預金・貸出金の状況

預金積金残高は、法人・個人預金の増加により、2020年3月末比172億円増加の4,297億円となりました。貸出金残高は、地域の皆さまの課題解決や資金需要にお応えし、同比145億円増加の2,196億円となりました。

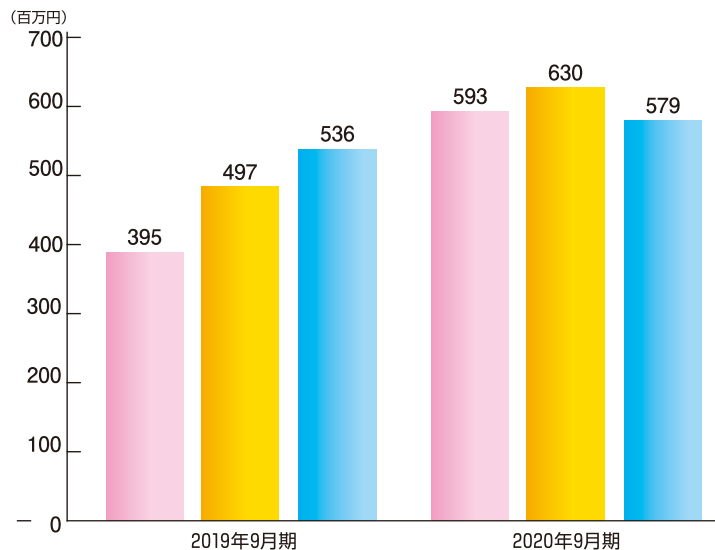
● 預金積金の推移



● 貸出金の推移



■ 損益の状況



資金利益の増加や経費の削減などにより、コア業務純益は前年同期比198百万円増加の593百万円、経常利益は132百万円増加の630百万円、当期純利益は42百万円増加の579百万円となりました。

コア業務純益とは

一般企業の営業利益にあたる業務純益から、国債等債券の売買損益など一時的な変動要因を除いたもので、より実質的な本業での収益力を表します。

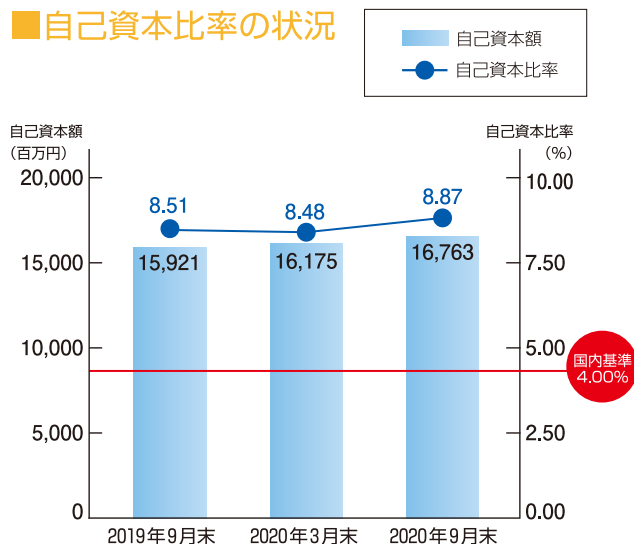
経常利益とは

金融機関の経常的な営業活動の成果を表すもので、金融機関の営業に通常発生する収益(経常収益)から費用(経常費用)を控除したものです。

当期純利益とは

経常利益に特別損益を加減算した利益から法人税、住民税及び事業税を控除し、さらに税効果会計による法人税等調整額を加減算したものです。

■ 自己資本比率の状況



自己資本比率は8.87%と、国内基準の4%を十分上回る水準を確保しております。引き続き経営の健全化・効率化を推し進め、自己資本の充実を図ってまいります。

自己資本比率とは

自己資本額をリスク・アセット(貸出金や有価証券などの資産をリスクの度合いに応じた金額に換算して積算したもの)等の額で除したもので、経営の安全性・健全性・企業体力(リスクへの耐性)等を表す代表的な指標です。

● 自己資本の構成

(単位:百万円,%)

	2019年9月末	2020年3月末	2020年9月末
コア資本に係る基礎項目 (A)	16,111	16,397	16,984
コア資本に係る調整項目 (B)	189	222	221
経過措置による不算入額			
自己資本 (A)-(B)=(C)	15,921	16,175	16,763
リスク・アセット等 (D)	187,032	190,732	188,957
自己資本比率 (C)÷(D)	8.51	8.48	8.87

■貸出金の業種別内訳

(単位:百万円、%)

	2019年9月末		2020年3月末		2020年9月末	
	残高	構成比	残高	構成比	残高	構成比
製 造 業	16,159	8.00	16,773	8.17	18,421	8.38
農 業、林 業	743	0.36	746	0.36	781	0.35
漁 業	2	0.00	2	0.00	1	0.00
鉱業、採石業、砂利採取業	260	0.12	265	0.12	266	0.12
建 設 業	18,523	9.18	18,514	9.02	23,018	10.47
電気、ガス、熱供給、水道業	1,464	0.72	1,384	0.67	1,370	0.62
情 報 通 信 業	356	0.17	346	0.16	294	0.13
運 輸 業、郵 便 業	5,736	2.84	5,943	2.89	7,095	3.22
卸 売 業、小 売 業	14,547	7.21	14,698	7.16	16,467	7.49
金 融 業、保 険 業	723	0.35	779	0.37	728	0.33
不 動 産 業	25,223	12.50	27,605	13.45	30,087	13.69
物 品 賃 貸 業	1,421	0.70	1,446	0.70	1,572	0.71
学術研究、専門・技術サービス業	502	0.24	520	0.25	565	0.25
宿 泊 業	749	0.37	742	0.36	927	0.42
飲 食 業	2,431	1.20	2,741	1.33	3,499	1.59
生活関連サービス業、娯楽業	1,282	0.63	1,321	0.64	1,576	0.71
教 育、学 習 支 援 業	378	0.18	380	0.18	501	0.22
医 療、福 祉	5,557	2.75	5,771	2.81	6,302	2.86
そ の 他 の サ ー ビ ス	11,167	5.53	11,699	5.70	13,373	6.08
小 計	107,230	53.14	111,683	54.43	126,849	57.74
地 方 公 共 団 体	18,413	9.12	17,566	8.56	17,293	7.87
個 人	76,112	37.72	75,906	36.99	75,527	34.38
合 計	201,755	100.00	205,156	100.00	219,669	100.00

(注)業種区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

■金融再生法開示債権の状況

(単位:百万円、%)

	2019年9月末	2020年3月末	2020年9月末
金融再生法上の不良債権 (A)	7,612	8,181	8,181
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,633	1,947	1,818
危険債権	5,798	6,077	6,182
要管理債権	180	156	179
正常債権	195,372	198,134	212,622
合 計 (B)	202,985	206,316	220,803
不良債権比率 (A)/(B)	3.75	3.96	3.70
保全額 (C)	6,520	6,988	6,871
担保・保証等による回収見込額	5,603	5,832	5,891
貸倒引当金	916	1,155	980
保全率 (C)/(A)	85.64	85.40	83.99

- (注)1.「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権です。
- 2.「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権です。
- 3.「要管理債権」とは、「3ヵ月以上延滞債権(元本または利息の支払が約定支払日の翌日から3月以上遅延している貸出金)および「貸出条件緩和債権(債務者への再建支援を目的として、金利の減免など債務者に有利となる取決めを行った貸出金)」に該当する貸出金です。
- 4.「正常債権」とは、債務者の財政状態および経営成績に特に問題がない債権であり、上記1、2、3以外の債権をいいます。
- 5.貸倒引当金は正常債権に対する一般貸倒引当金を除いて計上しております。

<2020年9月末の算出方法>

債務者区分については、原則として2020年3月末時点における自己査定による債務者区分を基準としております。ただし、4月1日から9月末までに倒産、不渡り等の客観的事実が発生するなど債務者区分の変更が必要と認められる債務者については、当金庫の定める自己査定基準に基づき債務者区分の見直しを行い、その増減額を反映させております。

■有価証券の時価情報

1. 満期保有目的の債券

(単位:百万円)

	種 類	2020年3月末			2020年9月末		
		貸借対照表計上額	時 価	差 額	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国 債	3,096	3,707	610	3,097	3,694	596
	地方債	7,499	8,842	1,343	7,499	8,847	1,348
	社 債	2,292	2,714	422	2,292	2,709	417
	その 他	3,900	4,008	108	6,999	7,168	168
	小 計	16,788	19,273	2,484	19,889	22,419	2,530
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	その 他	3,399	3,278	△121	1,500	1,480	△19
	小 計	3,399	3,278	△121	1,500	1,480	△19
合 計		20,188	22,552	2,363	21,389	23,899	2,510

(注)1. 時価は、基準日における市場価格等に基づいております。
2. 上記の「その他」は、外国証券です。

2. その他有価証券

(単位:百万円)

	種 類	2020年3月末			2020年9月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差 額	貸借対照表計上額	取得原価	差 額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株 式	349	297	51	261	197	64
	債 券	62,296	60,887	1,409	64,295	63,025	1,270
	国 債	2,067	2,063	4	2,714	2,698	16
	地方債	29,422	28,601	820	29,873	29,107	765
	社 債	30,806	30,221	584	31,708	31,219	488
	その 他	11,706	11,446	260	15,174	14,786	387
	小 計	74,352	72,631	1,721	79,732	78,009	1,722
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株 式	857	1,214	△356	851	1,150	△298
	債 券	14,814	15,001	△186	13,463	13,606	△143
	国 債	2,838	2,937	△99	3,139	3,224	△84
	地方債	2,144	2,152	△8	827	830	△2
	社 債	9,832	9,911	△79	9,495	9,552	△56
	その 他	11,259	12,177	△918	9,948	10,638	△690
	小 計	26,931	28,393	△1462	24,262	25,395	△1,132
合 計		101,283	101,024	259	103,995	103,404	590

(注)1. 貸借対照表計上額は、基準日における市場価格等に基づいております。
2. 上記の「その他」は、外国証券および投資信託等です。
3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

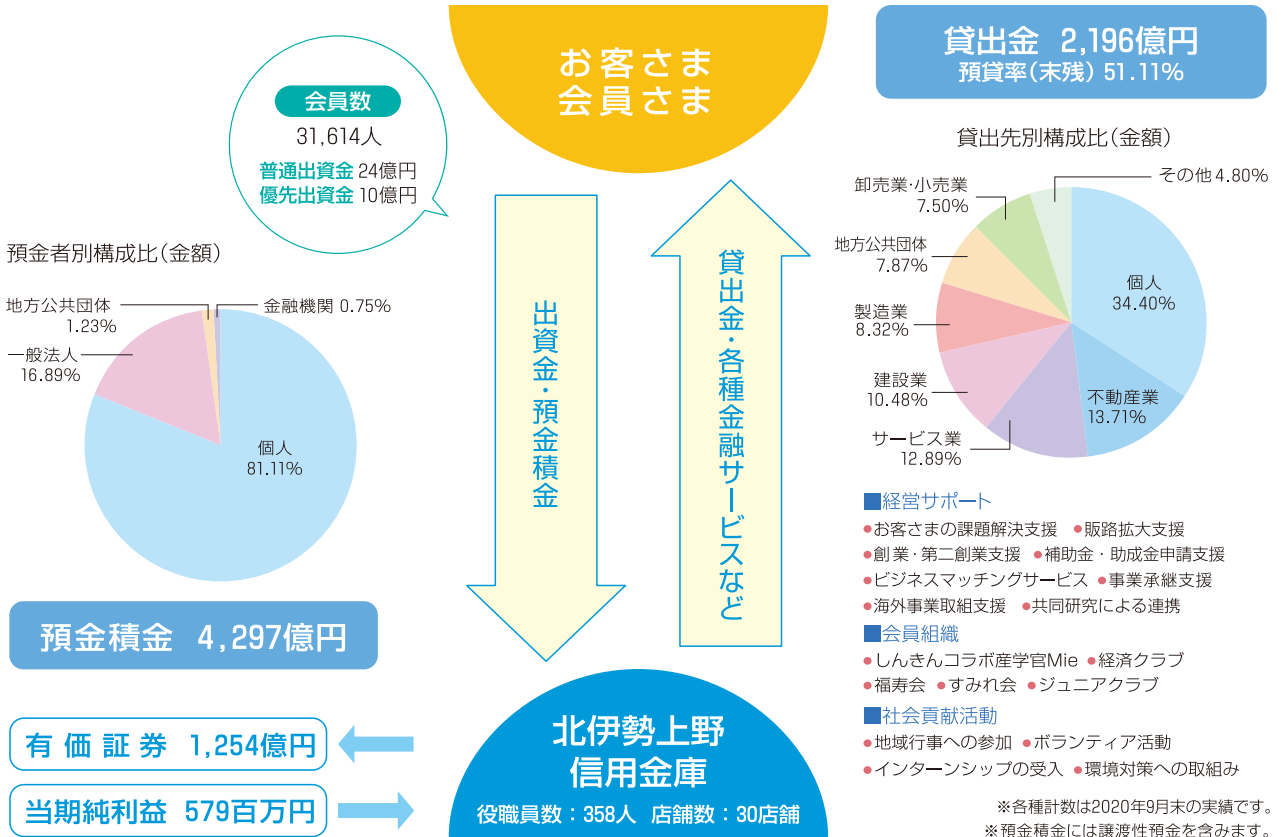
3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券

(単位:百万円)

	貸借対照表計上額	
	2020年3月末	2020年9月末
子 会 社 株 式	—	41
非 上 場 株 式	61	58
合 計	61	100

地域の皆さまとともに

「信用金庫」とは、限られた地域を営業エリアとする、地域住民や地域の中小企業のための金融機関です。株式会社である「銀行」と違い、会員の出資による協同組織の金融機関であり「非営利と相互扶助」を基本理念としています。当金庫は、三重県の北勢、伊賀を中心とした地域を営業エリアとして、地元のお客さまからお預かりした大切な資金（預金積金）を、地元のお客さまに広くご融資し、地域経済の安定や活性化に努めております。



地元中学校で 出張授業を実施しました

学校教育の振興と発展のため、四日市市教育委員会と連携し、市内の中学校で出張授業を行いました。営業店に勤務する若手職員が講師を担当し、金融についてのクイズなどを織り交ぜながら、和気あいあいとした雰囲気の中で授業を進めました。生徒の皆さんは、普段知ることのできない信用金庫の仕事内容ややりがいを知り、興味深く耳を傾けていました。当金庫は、今後も地域密着型金融機関として、地域の教育活動に貢献してまいります。



鈴鹿市ジュニアバレーボール 交歓大会に協賛

当金庫が後援している鈴鹿市ジュニアバレーボール交歓大会が「第4回北伊勢上野信用金庫杯」として開催されました。鈴鹿市の11チームが集まり、3会場に分かれて熱戦を繰り広げました。鋭いスパイクや見事なレシーブなど力のこもったプレーに会場内は大きな歓声や拍手に包まれました。



上半期の主な取組み

4月

受動喫煙防止策として、庫内全面禁煙を実施

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための営業体制導入
～窓口にパーテーションを設置

ゴールデンウィーク期間中、
新型コロナウイルス相談窓口を設置
(相談プラザ四日市、名張支店)



パーテーションの設置

5月

「三重県新型コロナウイルス感染症対応資金」取扱開始
～事業者さまの資金繰りを支援

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、
全店舗で昼休業を導入(～5/22)
～お客さまと職員への感染を防止しつつ、
金融サービス機能を維持・継続

6月

第92期通常総代会

「地域応援定期預金」取扱開始(～9月)
～コロナ禍での地域応援の一環として、
スーパー定期1年ものを適用金利0.03%にて取扱い

「教育ローンの
金利引き下げキャンペーン」実施(～3月)
～コロナ禍での子育て世代支援の一環



第92期通常総代会

教育プランキャンペーン

7月

「みらい応援キャンペーン」実施(～9月)
～コロナ禍での地域応援の一環として、
投資信託定期定額などを
ご契約のお客さまにクオカードをプレゼント

8月

プレミアム付商品券の販売および換金の取扱開始
第4回北伊勢上野信用金庫杯
第18回鈴鹿市ジュニアバレーボール交歓大会、協賛
「北勢総合リース株式会社」を完全子会社化

9月

本店玄関にサーマルカメラを設置
～新型コロナウイルス感染症対策として
四日市市教育委員会と連携し教育活動を実施
～塩浜中学校、朝明中学校にて当金庫職員が出張授業